

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成26年度 第7回
開催日時	平成27年2月19日（木曜日） 午後6時から午後8時15分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：吉田委員長、齋藤（三）委員、加藤委員、本橋委員、田崎委員、長坂委員、斎藤（博）委員 欠席：白井副委員長 事務局：日下部課長補佐、杉山主査
議題	1 第6回企画運営委員会会議録の承認について 2 施設見学について 3 平成27年度事業（方針・年間計画・企画提案）について 4 仮称第4回報告と懇談のつどいについて 5 その他 6 今後の会議日程について
会議資料の名称	資料1 第6回企画運営委員会会議録（案） 資料2 西東京市男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画書（第2案） 資料3 男女平等推進センター事業企画書 資料4 平成27年度西東京市男女平等推進センター企画事業方針（第2案） 資料5 仮称第4回報告と懇談のつどいの進行について 参考1 つどいの説明員参考案 参考2 西東京市男女平等推進センター登録団体一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 第6回企画運営委員会会議録の承認について</p> <p>事務局： 3か所の字句の修正と脱字の1か所について報告を行う。 （異議なしで承認。）</p> <p>議題2 施設見学について</p> <p>事務局： 報告がかなり遅れてしまい申し訳ないが、施設見学の概要は次のとおりである。 平成27年9月29日（月曜日）に東京都大田区立エセナおおたと港区立男女平等参画センターリーブラの2か所を午前9時30分から午後6時までをかけて見学した。出席者は、吉田、齋藤（三）、加藤、斎藤（博）の4名。 エセナは単独施設で、リーブラは複合施設の中にある、ともに駅近くの利便性のよいとこ</p>	

ろに位置している。運営は、ともに指定管理者であり、エセナはNPO法人でリーブラは、派遣業会社に委託をしている。エセナは地域で古くからエセナと共に活動してきた団体で、手づくり感があり利用者の声を実際の運営に取り入れている。リーブラはビジネスライクな感覚ではあるが、他の事業（港まつりなど）とのリンクにより集客へつなげている。

委員：

エセナに関しては、お茶の飲める談話室や読みたい時に本が手にとれる図書コーナーが各所にあり、気軽に自由に憩える場所といった感じ。

単独館という事もあるが、事業のポスターや啓発事業の広報など施設のあらゆるところに目立つように張り出されている。

リーブラに関しては、昼間人口が多く、在住のほか在勤の方などによる各会議室や館内施設の利用率は高いといえる。

この2月には新築センターへ移転の運びであり、新たな活動拠点として今後の展開を考えているとのこと。

・反省と今後

各先進自治体の良いところを、当市センターの事業に積極的に取り入れ市民の啓発に努めるようにしたい。今後は視察等の報告はできるだけ速やかに行う事にして、資料等の比較検討を可能なように体制を組むこととしたい。

議題3 平成27年度事業（方針・年間計画・企画提案）について

事務局：

（趣旨）の上から4行目の各企画提案事業を各事業に、計画的な提案と実施に向けた審議をすすめることが必要とされることを計画的に提案し実施するものであるにする。

（事業方針）の1講演会等の・推進計画の6つの係る内容の講演会等を計画的に提案するを推進計画の6つの基本目標に係る内容の講演会・講座等を計画的に実施するにする。また、講演会等の開催後のフォローを講座・講演会等の開催後のフォローにする。

（事業方針）の5委員の相互理解と親睦の委員会では～委員相互の理解と親睦を図る勉強会・視察等を開催するを委員会では～委員相互の理解を図るため研修会等を開催するにする。そのあと段落を変え男女平等推進委員会をはじめとする関係機関等との懇談の場等を設け、連携を密にしていく。を追加する。

各項目の見出しが体言留めになっているが、～する。など方針としては動きのある表現でするものではないのか。

議題4 仮称第4回報告と懇談のつどいについて

事務局：

昨年度までに3回、年度末に実施してきている3月14日（土曜日）に開催予定を組むことができるが、実施するとすれば実際の担当者等を決定していただきたい。

○委員

これまで事業報告としてつどいを、パリテだよりの発行と合わせて年度末に開催していたが、今般、情報誌パリテにパリテだよりが統合され、なおかつ1月発行というタイミングになったことにより、年度末事業報告としての意味が薄れてしまったと考えられる。

むしろ今後のあり方について、各関係機関や市民等との意見交換や情報連携を意図したつどいに変更したほうが良いものとする。

登録団体連絡会としての性格を持たせることは、いままでも検討されていたと思うが。

協働コミュニティ課で実施しているゆめコラボに似た形式で、登録団体などから企画提案など聴取する機会とすることも良いのではないかと。
年度末にこだわらずに新年度で実施することで良いのではないかと。

事務局：

このつどいについては、新年度4月の開催を提案したいと思うが。日程を決定していただければありがたいが。

○委員

4月18日（土曜日）の午前10時からでしょうか。

（異議なし）

議題5 その他

事務局：

議題3のところで説明し忘れたが、2月初旬に平成27年度予算の内示があり、予算案としては年間計画案に記載のとおり議会に上程されることとなった。予算案通過後、計画案から計画として成立する。

次に人数が出そろったところで、27年度企画提案をご審議願いたい。

（企画提案説明）

1 基礎講座「ノーバディズ・パーフェクト」

参加者同士の語らいや体験交流を通して、子育てを学び合う場を作り上げる。プログラムはファシリテーターがいる安心・安全な場での話し合いで進められ、子育ての方法を身につけ親としての自信をつけていく。

講師2人 9月3日～10月15日 連続6回 予算60,000円（5,000円×2人×6回）

2 週間事業（6月）映画「何を怖れる」

戦後のフェミニズム運動の中で活躍してきた女性たち12人の足跡を描き、老年期を迎えた今なおみずみずしくフェミニズムを生きる彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたのか、次の時代に何を伝えようとしているのか。松井久子監督が彼女たちの証言で綴る、ドキュメンタリー映画、と松井監督のトーク。

賃借料は鑑賞料有料＝50,000円、無料＝100,000円 監督トーク50,000円交渉

3 週間事業（6月）「オンナの私が働くために必要なことを教えて」

扶養控除の廃止。女性の活用が先進国のなかでも遅れている日本で、女性がどうやって働いていけばいいのか、不安ばかりが募っている。結婚して子どももいるし、家事もやらなきゃならないし、家庭との両立ってどうしてそんな大変なことばかりおしつけるのか、先生に聞いてみる。

大沢真知子（日女大教授） 時期及び講演料は要交渉

4 週間事業（6月）「生きる力を育てる学力」

平和や安全・安心（経済）など不安のある現在をひとりひとりの生きる力を向上させ元気に生きる夢をもって暮らす明日をめざす。

齋藤孝（明大教授） 時期及び講演料要交渉

5 共通講座「8時間睡眠のウソ」

「睡眠時間は人それぞれ、年齢でも変化する」「こま切れの睡眠はNG」「眠くなるまで寢床に向かつてはならない」「シフトワークは生活習慣病やがん、うつ病のリスクを高める」

「日本人は世界屈指の睡眠不足」など、最新の研究に明らかになった事実を開示しつつ、日本の男女の睡眠時間差、子供の睡眠時間について、解説してもらう。

三島和夫（精神科医 精神・神経医療研究センター部長）時期及び講演料要交渉
（審議結果1、2、3、4、5を採択）

付帯意見として、2 は条件面での交渉が必要であるため、実施困難であれば次候補を採用、ぜひ実施したいと思うが、最終的にパリテまつりに推薦することも。

3 は週間事業の候補ではあるが、他の事業が週間事業として実施可能となった場合は、基礎講座として候補に採用（週間事業6月次点第2位）

4 は（週間事業6月次点第1位）かなり著名人であるため、ダメ元で交渉

議題6 今後の会議日程について

次回日程について、3月19日（木曜日）午後6時からとする。

（閉会）

以上